

伊豆市第1次総合計画後期基本計画

市民アンケート調査報告書



平成22年2月

伊豆市

1:調査の概要

1-1. 調査の目的

伊豆市では、市民の皆さまの参画による市政の推進と、行政サービスの向上を目指すとともに、計画的なまちづくりのために、平成23年度から5年間を計画期間とした「第1次伊豆市総合計画後期基本計画」の策定を進めています。

このアンケート調査は、第1次伊豆市総合計画後期基本計画の策定に際し、市民意識・ニーズ・施策の満足度及び重要度等を多角的に把握し、今後の市の諸施策に市民の皆さまの声を反映させることを目的に行なったものです。

1-2. 調査方法

①調査対象地区

市内全域

②調査対象

市内在住の20歳以上を対象に無作為抽出

③配布票数

500票

④調査期間

配布：平成22年1月8日 投函〆切：平成22年1月25日

※最終〆切：平成22年2月5日

⑤配布・回収方法

配布：郵送

回収：郵送（返信用封筒同封・切手不要・無記名）

1-3. 回収結果

①回収票数

189票

②回収率

37.8%

③地区別回収票数

修善寺地区 : 79票 中伊豆地区 : 49票

天城湯ヶ島地区 : 36票 土肥地区 : 24票

不明 : 1票

2:調査内容

回答者の属性

- 問1 : 性別
- 問2 : 年齢
- 問3 : 居住地区
- 問4 : 伊豆市の住みよさ
- 問5 : 伊豆市・地区への愛着

伊豆市の土地利用について

- 問6 : 居住地区の土地利用評価

伊豆市の各施策について

- 問7 : 伊豆市の各施策の満足度と重要度

各分野におけるまちづくりについて

- 問8 : 生活環境
- 問9 : 交通
- 問10 : 教育・文化・余暇・スポーツ
- 問11 : 福祉・健康
- 問12 : 高齢化
- 問13 : 観光
- 問14 : 農林水産業
- 問15 : 商工業
- 問16 : 社会活動
- 問17 : 市民参加
- 問18 : 人口減少

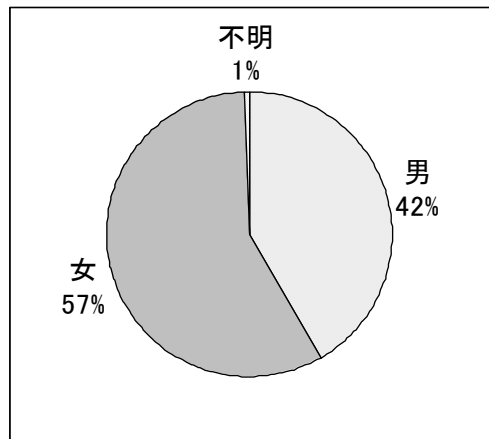
ご意見・ご要望

- 問19 : まちづくりに関するご意見・ご要望（自由回答）

3:調査結果

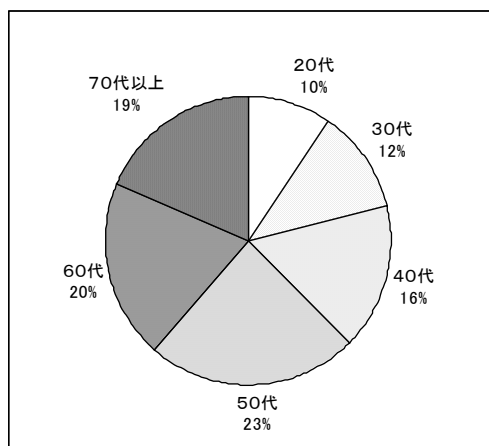
問1. 性別

- 回答者は男性が42%、女性が57%、性別不明が1%と女性が男性を上回り半数以上となっています。



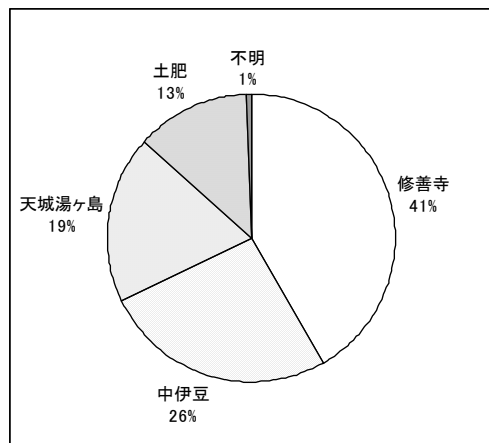
問2. 年齢

- 年齢は、50歳代が23%と最も高く、次に60歳代の20%となっています。
- 60歳以上の高齢者は全体の約4割となっています。また、20歳代・30歳代ともに全体の約1割程度を占めています。



問3. 居住地区

- 回答者の居住地区は修善寺地区が41%と最も高く、次に中伊豆地区の26%となっています。
- 回収状況は、人口比（修善寺：中伊豆：天城湯ヶ島：土肥=44：23：20：13）とほぼ比例しています。

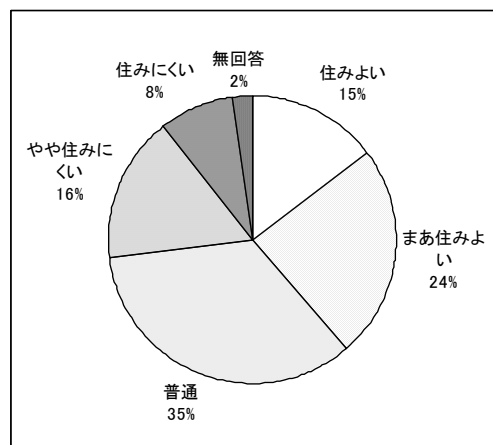


問4. 伊豆市の住みよさ

あなたは伊豆市を住みよいと思いますか。(1つに○)

1. 住み良い	2. まあ住み良い	3. 普通
4. やや住みにくい	5. 住みにくい	

- 「住みよい」(15%)「まあ住みよい」(24%)の合計39%は、「住みにくい」(8%)「やや住みにくい」(16%)の合計24%の1.6倍以上となっています。
- 評価ポイントを「住み良い」=4p「まあ住み良い」=3p「普通」=2p「やや住みにくい」=1p「住みにくい」=0pとして、平均を数値化すると2.2pとなり、「普通」よりもやや住みやすい数値となります。



《前回調査との比較》

伊豆市第1次総合計画前期基本計画策定時(平成16年10月)に実施した市民アンケートの結果と比較すると、

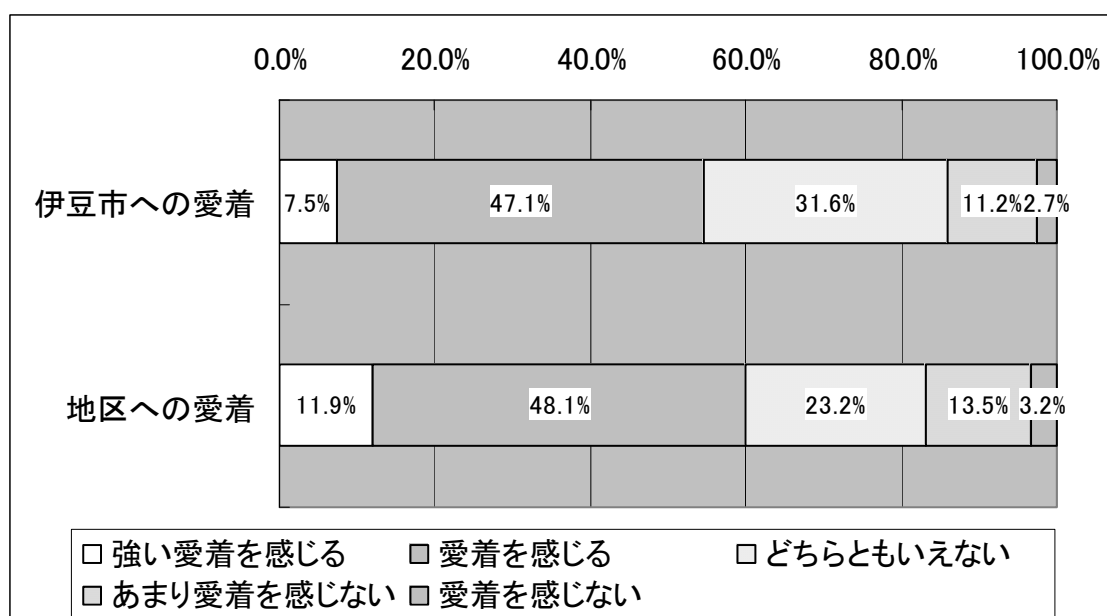
- 「普通」と回答された方の割合は前回とほぼ同様となっています。
- 「住みよい」「まあ住みよい」と回答された方の割合が9%減少し、「やや住みにくい」「住みにくい」と回答された方が9%増加しており、全体として住みにくいと評価する方が増えています。

住みよさの評価	今回調査結果	前回調査結果
住みよい	15%	20%
まあ住みよい	24%	28%
普通	35%	34%
やや住みにくい	16%	10%
住みにくい	8%	5%
無回答	2%	3%

問5. 伊豆市・地区への愛着

あなたは伊豆市や地区（町内会・自治会）などの身近な範囲に、日頃どのぐらい愛着を感じていますか。（各項目について、それぞれ1～5の中から1つに○）

	強い愛着を感じる	愛着を感じる	どちらともいえない	あまり愛着を感じない	愛着を感じない
(1)伊豆市への愛着	1	2	3	4	5
(2)自分の住む地区への愛着	1	2	3	4	5



- 伊豆市への愛着よりも自分の住む地区への愛着が高くなっていますが、「あまり愛着を感じない」「愛着を感じない」と回答した割合は伊豆市の方が少なくなっています。
- 評価ポイントを「強い愛着を感じる」=2p「愛着を感じる」=1p「どちらともいえない」=0p「あまり愛着を感じない」=-1p「愛着を感じない」=-2pとして、平均を数値化すると伊豆市への愛着が0.45p、地区への愛着が0.52pとなり、やや愛着を感じているという数値となっています。

《前回調査との比較》

伊豆市第1次総合計画前期基本計画策定時（平成16年10月）に実施した市民アンケートの結果と比較すると、

- 伊豆市へ強い愛着を感じている方が13.1%から7.5%に減少、地区へ強い愛着を感じている方が20.6%から11.9%に減少しており、愛着が薄れている結果となっています。

伊豆市への愛着

	今回調査結果	前回調査結果
強い愛着を感じる	7.5%	13.1%
愛着を感じる	47.1%	47.9%
どちらともいえない	31.6%	26.9%
あまり愛着を感じない	11.2%	9.3%
愛着を感じない	2.7%	2.8%

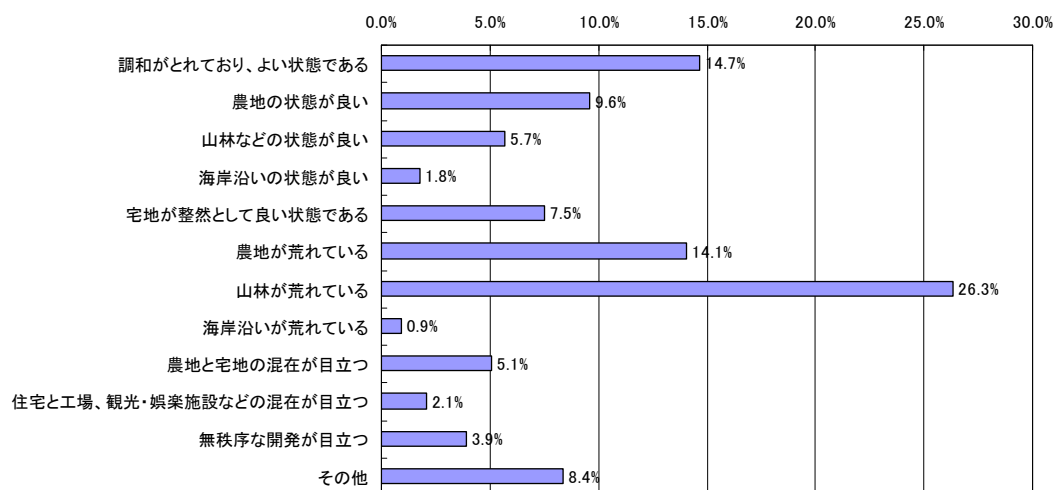
自分の住む地区への愛着

	今回調査結果	前回調査結果
強い愛着を感じる	11.9%	20.6%
愛着を感じる	48.1%	47.9%
どちらともいえない	23.2%	18.2%
あまり愛着を感じない	13.5%	9.1%
愛着を感じない	3.2%	4.3%

問6. 居住地区の土地利用について

あなたが住んでいる地区の現在の土地の利用状況についてどう思いますか。(2つに〇)

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 調和がとれており、よい状態である 2. 農地の状態が良い 3. 山林などの状態が良い 4. 海岸沿いの状態が良い 5. 宅地が整然として良い状態である 6. 農地が荒れている 7. 山林が荒れている 8. 海岸沿いが荒れている 9. 農地と宅地の混在が目立つ 10. 住宅と工場、観光・娯楽施設などの混在が目立つ 11. 無秩序な開発が目立つ 12. その他（具体的に：) |
|---|



《その他として寄せられた意見》

- ・市街化調整区域の為、自分の土地が自由にならない
- ・調整区域をはずさない限り人口増加が望めない
- ・土地の規制を緩和し工場用地に利用してほしい
- ・番地がでたらめな気がします
- ・公園がない

- ・空家が目立つ ・空家が多い ・空家、空施設が目立つ ・空家などが目立ち寂れた感じ
- ・今に山崩れが起きそうなところが数箇所ある。地すべりはしょっちゅうあり不安だ。
- ・大雨の後の土砂崩れが心配 ・山や空地にゴミの不法投棄 ・道路上に空き缶やゴミなどの投棄が多い
- ・山林に不法投棄があるのが気になる ・土肥大川に雑草、ゴミがあり観光の街として見苦しい
- ・車が多く子供が歩きにくい ・道路が狭い ・街灯が非常に少ない
- ・畑、田がある中で家がどうして増えないのでしょうか？（昔のままです） ・休耕田が多い
- ・空地が目立ち個人商店もスーパーの進出で閉店が多く、活性化に乏しい
- ・商店街が寂しい ・観光などの場がない ・天城会館を有効に（もっと人が集まる場所に）
- ・いい状態とはどういう状態のことなのかわからないので〇をつけられない ・よくわかりません

- 「山林が荒れている」（26.3%）が突出して多い。次いで「調和がとれており、よい状態である」（14.7%）、「農地が荒れている」（14.1%）となっています。

《前回調査との比較》

伊豆市第1次総合計画前期基本計画策定時（平成16年10月）に実施した市民アンケートの結果と比較すると、

- 依然として「山林が荒れている」という回答が突出しており、「農地が荒れている」という回答も多くなっています。
- 「調和がとれており、よい状態である」「宅地が整然として良い状態である」という回答の割合が増加しています。
- 「農地と宅地の混在が目立つ」「住宅と工場、観光・娯楽施設などの混在が目立つ」「無秩序な開発が目立つ」という回答の割合が減少しています。

	今回調査結果	前回調査結果
調和がとれており、よい状態である	14.7%	11.6%
農地の状態が良い	9.6%	9.1%
山林などの状態が良い	5.7%	4.3%
海岸沿いの状態が良い	1.8%	2.0%
宅地が整然として良い状態である	7.5%	5.3%
農地が荒れている	14.1%	15.3%
山林が荒れている	26.3%	25.4%
海岸沿いが荒れている	0.9%	1.0%
農地と宅地の混在が目立つ	5.1%	10.1%
住宅と工場、観光・娯楽施設などの混在が目立つ	2.1%	4.8%
無秩序な開発が目立つ	3.9%	5.9%
その他	8.4%	5.0%

問7. 伊豆市の各施策の満足度と重要度について

次の項目の「満足度」と「重要度」のそれぞれについて、日頃どのように感じていますか。

項目ごとに該当する番号を1つ選んでください。

施 策	満足度・重要度					満足度・重要度				
	1 満 足	2 やや 満足	3 普 通	4 やや 不満	5 非 常 に 不 満	1 重 要	2 ま あ 重 要	3 普 通	4 あ ま り 重 要 で な い	5 重 要 で な い
【健康・福祉】										
ア 検診や講座などの健康づくり活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
イ ボランティア活動の機会	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
ウ 高齢者への福祉サービスの充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
エ 障害者を支援する環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
オ 子育て支援サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
【観光・産業】										
カ 観光交流産業の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
キ 農林水産業の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
ク ウェルネス産業（※1）の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
ケ 商店街や中小企業への支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
【自然・環境】										
コ 緑豊かな環境の維持・管理	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
サ リサイクル活動や省エネ対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
シ 上下水道サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
ス 落ち着いたある街並みの創出	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
セ 公園や広場の整備・管理	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
【文化・スポーツ】										
ソ 地域を担う人材の育成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
タ 生涯学習機会の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
チ 学校教育内容の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
ツ 歴史的な資源の保存と活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
テ スポーツ施設の整備・活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
ト 国際理解・国際交流の機会	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
【都市基盤】										
ナ 道路・公共交通などの整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
ニ ITを活用した行政サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
ヌ 計画的な市街地の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
ネ 地震や台風などへの対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
ノ 消防・救急体制の強化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
【地域運営】										
ハ コミュニティ活動や市民活動の支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
ヒ 透明で効率的な行財政運営	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

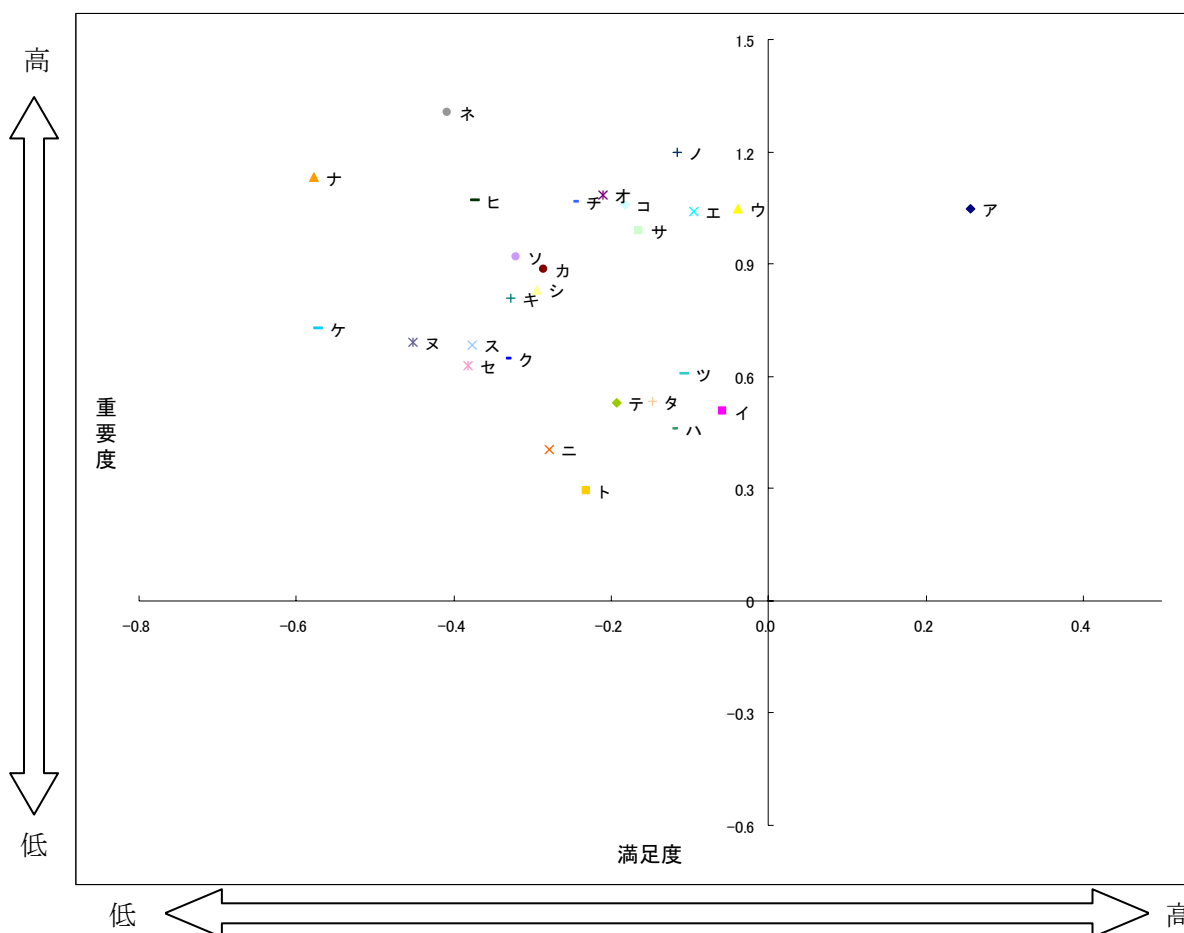
（※1）ウェルネス産業・・・森林や温泉と運動・医療・健康の分野などの資源を活用した健康総合産業

- 総合計画の基本構想として定められた各施策の満足度と重要度について調査を行ないました。
- 評価ポイントを「満足・重要」=2p「やや満足・まあ重要」=1p「普通」=0p「やや不満・あまり重要でない」=-1p「非常に不満・重要でない」=-2pとして、平均を数値化すると以下の結果となりました。

設問	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ
満足度	0.26	-0.06	-0.04	-0.09	-0.21	-0.29	-0.33	-0.33	-0.57	-0.18
重要度	1.05	0.51	1.05	1.04	1.08	0.88	0.81	0.65	0.73	1.06

設問	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト
満足度	-0.17	-0.29	-0.38	-0.38	-0.32	-0.15	-0.25	-0.11	-0.19	-0.23
重要度	0.99	0.83	0.68	0.63	0.92	0.53	1.07	0.61	0.53	0.29

設問	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ
満足度	-0.58	-0.28	-0.45	-0.41	-0.12	-0.12	-0.37
重要度	1.13	0.40	0.69	1.30	1.20	0.46	1.07

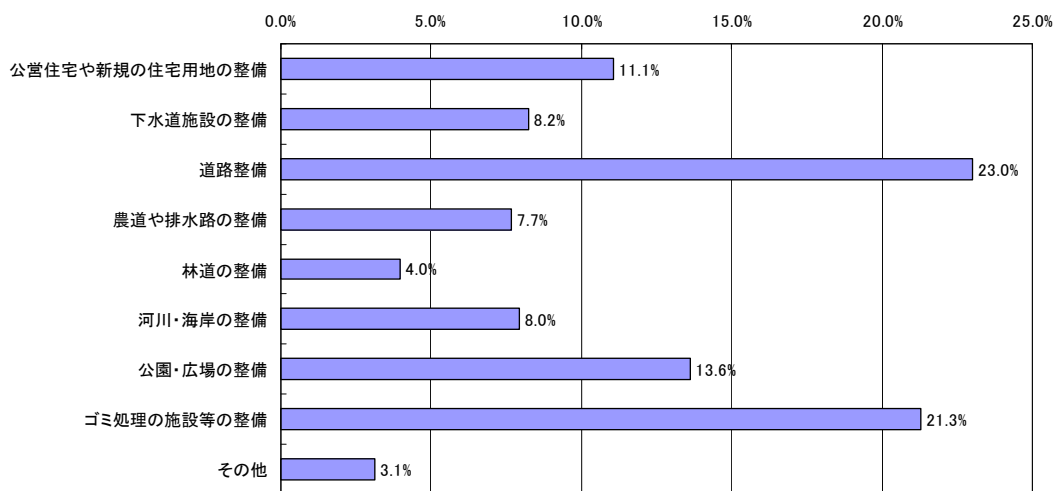


- 満足度については、全体的に「普通」よりも「やや不満」という数値となっています。
- 重要度については全ての施策について「普通」よりも「まあ重要」という数値となっています。
- 「検診や講座などの健康づくり活動」の満足度が唯一「普通」以上の数値（0.26 p）となっています。
- 最も満足度が低い評価となったのは「道路・公共交通などの整備」（-0.58 p）であり、次いで「商店街や中小企業への支援」（-0.57 p）となっています。
- 最も重要度が高い評価となったのは、「地震や台風などへの対策」（1.3 p）であり、次いで「消防・救急体制の強化」（1.2 p）となっています。

問8. 生活環境整備

どの分野の生活環境整備を重視したらよいと思いますか。（2つに〇）

1. 公営住宅や新規の住宅用地の整備	2. 下水道施設の整備
3. 道路整備	4. 農道や排水路の整備
5. 林道の整備	6. 河川・海岸の整備
7. 公園・広場の整備	8. ゴミ処理の施設等の整備
9. その他（具体的に：	）



《その他として寄せられた意見》

- ・地震等で危険とされる箇所の安全対策 ・河川や排水路は自然護岸風に。自然エネルギーの利用
- ・医療施設の整備 ・観光の街であるためには美しい町づくり ・街灯を増やしてほしい
- ・自由に使える広場（ゲートボール専用などではない） ・職場の整備 ・修善寺駅前の整備
- ・スーパーマーケットやショッピングセンターなどの誘致 ・生活必需品が買えるように
- ・整備、設備のみ重視してもそれに携わる人の心が重要ではないか。形式だけ整えても人材育成がないと前進はない。まず閉鎖的な地域主義をたたき壊すことだ。

- 「道路整備」(23.0%)、「ゴミ処理の施設等の整備」(21.3%)、「公園・広場の整備」(13.6%)の順に割合が高くなっています。
- 「林道の整備」(4.0%)が最も低い割合となっています。

《前回調査との比較》

伊豆市第1次総合計画前期基本計画策定時（平成16年10月）に実施した市民アンケートの結果と比較すると、

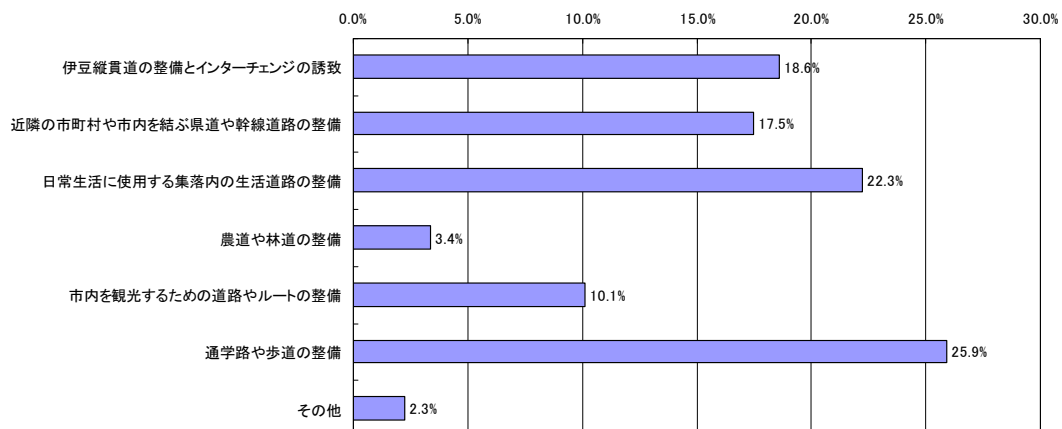
- 前回同様「道路整備」、「ゴミ処理の施設等の整備」の割合が高くなっています。
- 「下水道施設の整備」の割合が大きく減少しています。
- 「公営住宅や新規の住宅用地の整備」の割合が増加しています。

	今回調査結果	前回調査結果
公営住宅や新規の住宅用地の整備	11.1%	8.4%
下水道施設の整備	8.2%	14.7%
道路整備	23.0%	22.1%
農道や排水路の整備	7.7%	8.0%
林道の整備	4.0%	4.9%
河川・海岸の整備	8.0%	7.5%
公園・広場の整備	13.6%	13.7%
ゴミ処理の施設等の整備	21.3%	18.5%
その他	3.1%	2.2%

問9. 交通

道路網や交通の整備では、どのような点に重点をおいたらよいと思いますか。（2つに○）

1. 東名高速道路につながる伊豆縦貫道の整備とインターチェンジの誘致
2. 近隣の市町村や市内を結ぶ県道や幹線道路の整備
3. 日常生活に使用する集落内の生活道路の整備
4. 農道や林道の整備
5. 市内を観光するための道路やルートの整備
6. 通学路や歩道の整備
7. その他（具体的に： _____）



《その他として寄せられた意見》

- ・ サイクルロード、ウォーキングルートの整備、車の道路は不要 ・ 自転車用レーン
- ・ 修善寺駅周辺の道路やルートの整備 ・ 新たな道路は必要ない ・ 渋滞の緩和
- ・ 車道を歩かなくてもいいように遊歩道の整備
- ・ 山間地の子供の登下校のバスを何とか確保してほしい
- ・ バスの通らない別荘地も住民税を払っている以上、雪かきやその他全般について「自分たちでやれ」ではなく、協力を惜しまないこと。受入れる体制を強化し仲良く助け合えば得となる事が多い。

- 「通学路や歩道の整備」(25.9%)、「集落内の生活道路の整備」(22.3%)の順に割合が高くなっています。
- 「農道や林道の整備」(3.4%)が最も低い割合となっています。

《前回調査との比較》

伊豆市第1次総合計画前期基本計画策定時(平成16年10月)に実施した市民アンケートの結果と比較すると、

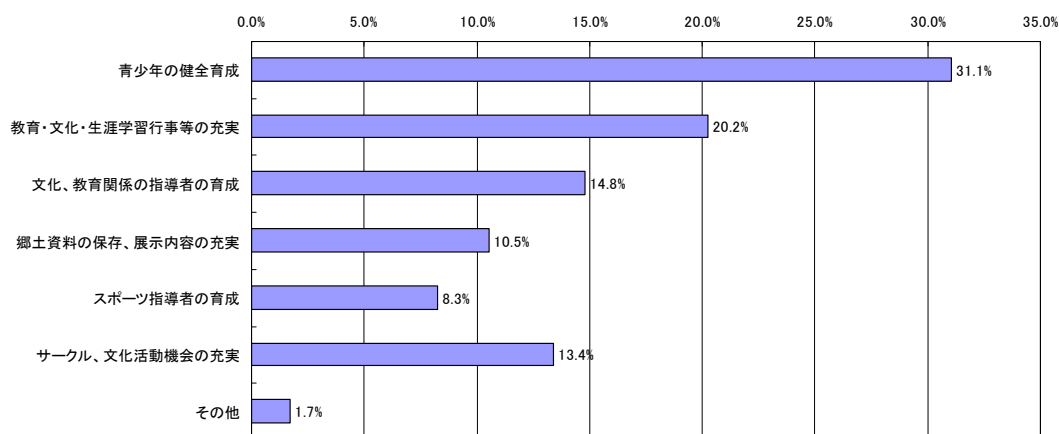
- 前回同様「通学路や歩道の整備」、「集落内の生活道路の整備」の割合が高くなっており、ほぼ同様の傾向となっています。

	今回調査結果	前回調査結果
伊豆縦貫道の整備とインターチェンジの誘致	18.6%	18.7%
近隣の市町村や市内を結ぶ県道や幹線道路の整備	17.5%	20.7%
日常生活に使用する集落内の生活道路の整備	22.3%	22.0%
農道や林道の整備	3.4%	3.9%
市内を観光するための道路やルートの整備	10.1%	10.5%
通学路や歩道の整備	25.9%	22.4%
その他	2.3%	1.8%

問10. 教育・文化・余暇・スポーツ

教育・文化・余暇・スポーツの面でどんな対策が重要であるとお考えですか。(2つに〇)

1. 青少年の健全育成
2. 教育・文化・生涯学習行事等の充実
3. 文化、教育関係の指導者の育成
4. 郷土資料の保存、展示内容の充実
5. スポーツ指導者の育成
6. サークル、文化活動機会の充実
7. その他（具体的に：)



《その他として寄せられた意見》

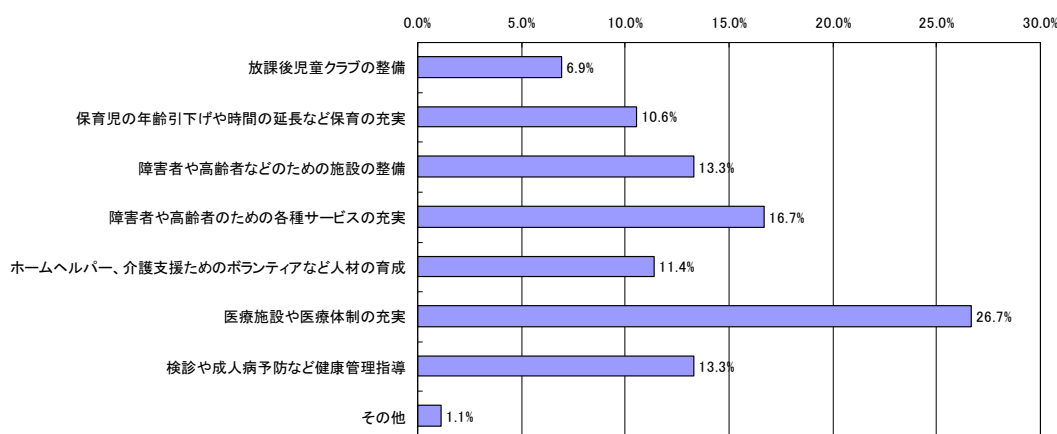
- ・ NPO 活動をもっと増やすべき
- ・ 学校教育を少人数学級で行なう。図書費の予算配分を多くする。
- ・ 地域で全員参加など、おしつけがましくないようお願いができれば、何でも結構だと思う。
- ・ 市文化祭開催にしても市民に対する宣伝が不足している
- ・ 余裕がなく参加できない
- ・ 地区でかたまってしまわないで、もっと広く人と交流を深め世界観を持つように指導して欲しい。用心することも必要だが、心を開くことも大事だと思う。

- 「青少年の健全育成」(31.1%) が突出しており、次いで「教育・文化・生涯学習行事等の充実」(20.2%) の順に割合が高くなっています。
- 伊豆市第1次総合計画前期基本計画策定時(平成16年10月)に実施した市民アンケートとは、質問内容が異なるため比較は難しいが、前回同様「青少年の健全育成」が突出した結果となっています。
- 「スポーツ指導者の育成」が8.3%と最も低い割合となっています。

問11. 福祉・健康

福祉や健康の面でどんな対策が重要であるとお考えですか。(2つに〇)

1. 放課後児童クラブの整備
2. 保育児の年齢引下げや時間の延長など保育の充実
3. 障害者や高齢者などのための施設の整備
4. 障害者や高齢者のための各種サービスの充実
5. ホームヘルパー、介護支援ためのボランティアなど人材の育成
6. 医療施設や医療体制の充実
7. 検診や成人病予防など健康管理指導
8. その他（具体的に：)



《その他として寄せられた意見》

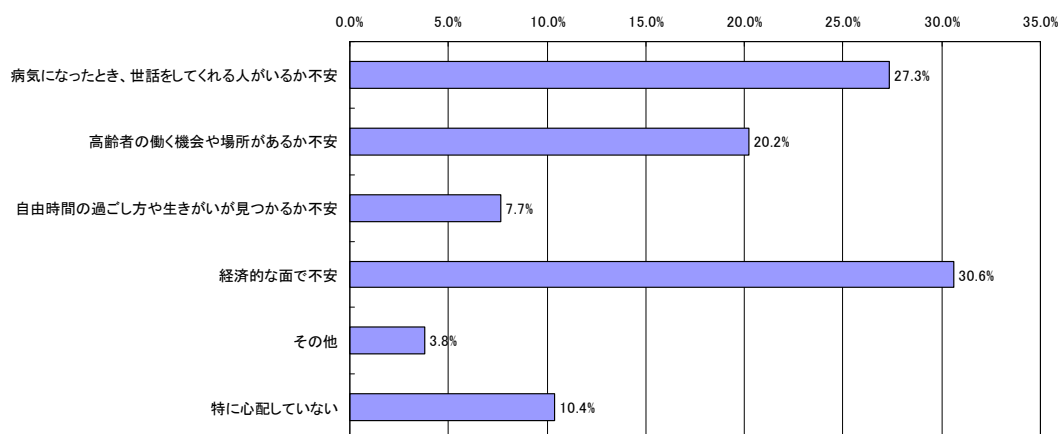
- ・高齢者福祉サービスは地域格差が大きく、土肥では選択の余地がないため、各種サービス事業所を開設する人の支援や誘致。
- ・子供から高齢者まで障害者も一緒に利用できる施設作り（ハードだけでなくソフトが特に重要）
- ・病院が少ないので、出張回診や車検診を充実させ、健康指導や病気の早期発見や通院不可能な人の相談にのったり、細かい配慮をしなければ本当の意味の福祉活動はないと思う。
- ・高齢者の筋力増強トレーニング（寝たきり予防）

- 「医療施設や医療体制の充実」（26.7%）が突出しており、次いで「障害者や高齢者のための各種サービスの充実」（16.7%）の順に割合が高くなっています。
- 伊豆市第1次総合計画前期基本計画策定時（平成16年10月）に実施した市民アンケートとは、質問内容が異なるため比較は難しいが、前回同様「医療施設や医療体制の充実」が突出した結果となっています。また、前回結果で割合の高かった「障害者や高齢者のための施設の整備」が減少する結果となっています。

問12. 高齢化

今後、ますます高齢化が進むと判断されますが、あなたはこれについて、どのようなことが心配ですか。(1つに〇)

1. 病気になったとき、世話をしてくれる人がいるか不安
2. 高齢者の働く機会や場所があるか不安
3. 自由時間の過ごし方や生きがいが見つかるか不安
4. 経済的な面で不安
5. その他(具体的に：)
6. 特に心配していない



《その他として寄せられた意見》

- ・全部当てはまらと思う ・現在高齢者世帯であり、困ることばかりです ・寝たきりになること
- ・区の運営や付き合いなどが出来なくなること ・自分の両親の世話が不安
- ・金銭的な負担が大きくなり、介護や支援が受けられるかどうか

- 「経済的な不安」(30.6%)、「病気の世話の不安」(27.3%)の順に割合が高くなっています。
- 「特に心配していない」と回答された方が全体の1割となっています。

《前回調査との比較》

伊豆市第1次総合計画前期基本計画策定時(平成16年10月)に実施した市民アンケートの結果と比較すると、

- 前回同様「経済的な不安」、「病気の世話の不安」の割合が高くなっています。
- 「高齢者の働く機会や場所があるか不安」の割合が大きく増加しています。

- 「特に心配していない」の割合が減少しています。

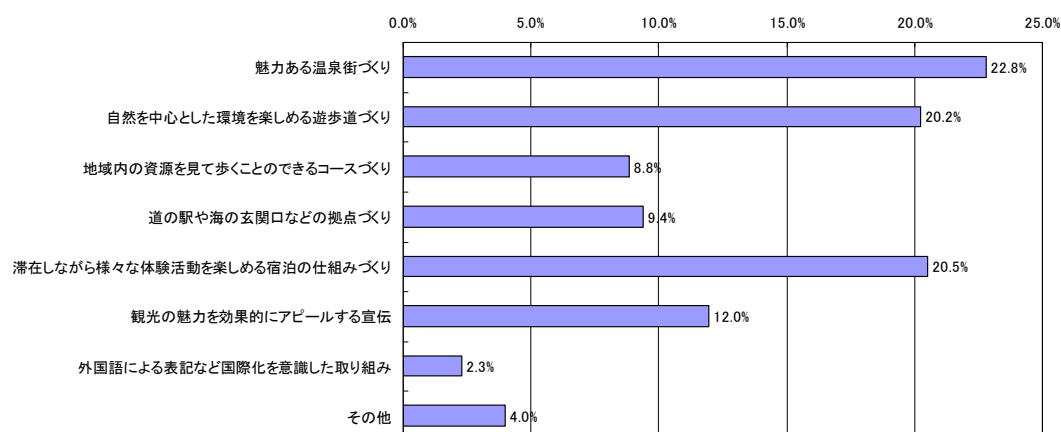
	今回調査結果	前回調査結果
病気になったとき、世話をしてくれる人がいるか不安	27.3%	25.8%
高齢者の働く機会や場所があるか不安	20.2%	11.2%
自由時間の過ごし方や生きがいが見つかるか不安	7.7%	9.1%
経済的な面で不安	30.6%	35.1%
その他	3.8%	3.0%
特に心配していない	10.4%	15.9%

問13. 観光

観光地としての魅力を高めていくためには、どんな対策が重要であるとお考えですか。

(2つに〇)

1. 魅力ある温泉街づくり
2. 自然を中心とした環境を楽しめる遊歩道づくり
3. 地域内の資源を見て歩くことのできるコースづくり
4. 道の駅や海の玄関口などの拠点づくり
5. 滞在しながら様々な体験活動を楽しめる宿泊の仕組みづくり
6. 観光の魅力を効果的にアピールする宣伝
7. 外国語による表記など国際化を意識した取り組み
8. その他（具体的に：)



《その他として寄せられた意見》

- ・この土地でしか見られない唯一の何かが必要
- ・特徴を持つ、売りはオンリーワン

- ・案内人等（タクシー運転手の一日修善寺案内など） ・地元の観光業に支援してほしい
- ・土肥が通過地でないような半日、一日コースの観光コースを設けてみては。
- ・多くの人を呼び込む努力、多くの人に来てくれる様な施設づくり ・自転車道などの遊車道
- ・修善寺温泉のアピール、道路を広げる、料金の安い駐車場を作る
- ・お金をかけてでも昔の景観を取り戻す ・里山景観の形成
- ・空地、河川などにゴミがたくさんあり、それをきれいにするのが先決。
- ・伊豆市は観光地ではないと思う
- ・受入体制が出来てもいないのに、魅力を求めても観光目的の成功は得られないと思う。まず、受入体制を強化させることが必要。観光は人がするもの。その人達が安心して喜んで、また行きたくなるような心を高めないと作ることに重きを置いても人はついてこない。

- 「魅力ある温泉街づくり」（22.8%）、「様々な体験活動を楽しめる宿泊の仕組みづくり」（20.5%）「自然環境を楽しめる遊歩道づくり」の順に割合が高くなっています。
- 「国際化を意識した取り組み」（2.3%）が最も低い割合となっています。

《前回調査との比較》

伊豆市第1次総合計画前期基本計画策定時（平成16年10月）に実施した市民アンケートの結果と比較すると、

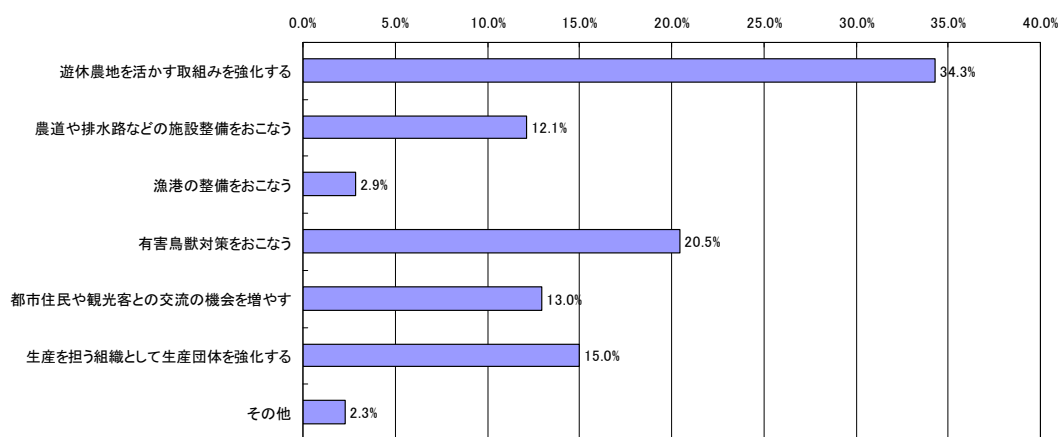
- 前回同様「自然環境を楽しめる遊歩道づくり」、「様々な体験活動を楽しめる宿泊の仕組みづくり」、「魅力ある温泉街づくり」の割合が高くなっています。
- 前回調査で最も割合が高かったのは「自然環境を楽しめる遊歩道づくり」でしたが、今回調査では「魅力ある温泉街づくり」の割合が最も高い結果となっています。

	今回調査結果	前回調査結果
魅力ある温泉街づくり	22.8%	19.6%
自然を中心とした環境を楽しめる遊歩道づくり	20.2%	22.8%
地域内の資源を見て歩くことのできるコースづくり	8.8%	7.9%
道の駅や海の玄関口などの拠点づくり	9.4%	8.9%
滞在しながら様々な体験活動を楽しめる宿泊の仕組みづくり	20.5%	20.5%
観光の魅力を効果的にアピールする宣伝	12.0%	12.8%
外国語による表記など国際化を意識した取り組み	2.3%	4.6%
その他	4.0%	2.9%

問14. 農林水産業

農林水産業振興のためには、どんな対策が重要であるとお考えですか。(2つに〇)

1. 遊休農地を活かす取組みを強化する
2. 農道や排水路などの施設整備をおこなう
3. 漁港の整備をおこなう
4. 有害鳥獣対策をおこなう
5. 都市住民や観光客との交流の機会を増やす
6. 生産を担う組織として生産団体を強化する
7. その他(具体的に：)



《その他として寄せられた意見》

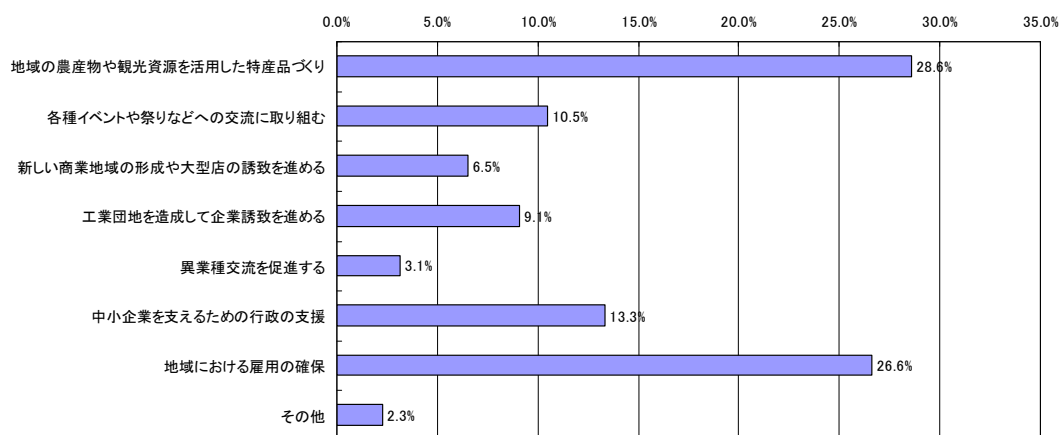
- ・ 特産物を作ること ・ 地域の特色ある農業水産業をいかに観光に活かせるか
- ・ 地元の農業、漁業の方への支援をしてほしい ・ 移住者が関わりやすい様オープンに
- ・ 田畑内の鳥獣対策は狩猟期間外でも自由にできるように。田畑内では1年中ワナの捕獲を認めるべきである。
- ・ わからない

- 「遊休農地を活かす取組みを強化する」(34.3%) が突出しており、次いで「有害鳥獣対策をおこなう」(20.5%) の順に割合が高くなっています。
- 伊豆市第1次総合計画前期基本計画策定時(平成16年10月)に実施した市民アンケートとは、質問内容が異なるため比較は難しいが、前回同様「有害鳥獣対策をおこなう」の数値が高くなっています。

問15. 商工業

商工業振興のためには、どんな対策が重要であるとお考えですか。(2つに〇)

1. 地域の農産物や観光資源を活用した特産品づくり
2. 各種イベントや祭りなどへの交流に取り組む
3. 新しい商業地域の形成や大型店の誘致を進める
4. 工業団地を造成して企業誘致を進める
5. 異業種交流を促進する
6. 中小企業を支えるための行政の支援
7. 地域における雇用の確保
8. その他(具体的に：)



《その他として寄せられた意見》

- ・朝市、狩野川公園広場をもっと使用したらどうですか？主婦は安い物に心を惹かれます。
- ・他市のイベントに参加し、商品をアピールする活動
- ・都市部との交流、出向いての商売・観光業の宣伝
- ・こだわりや特異な技術を開発すべきである。 ・伊豆でなければならぬ特産品の宣伝強化
- ・非常にむずかしいと思うが、昔ながらのご近所商店や市全体で協力しての協同仕入れなどで大型店と共存することなど
- ・無着色、無香料、保存料不使用のお土産品に重点をおいてほしい。安心して食べられるものを定着させること。1～7をどんどん進めるべき。仕事が増え、若い人も街へ出て行かなくなるし、歳をとってから仕事ができる。歳をとっても元気な老人は仕事をしたいのだ。

- 「農産物・観光資源の特産品づくり」(28.6%) 「地域における雇用の確保」(26.6%) の順に割合が高くなっています。
- 伊豆市第1次総合計画前期基本計画策定時(平成16年10月)に実施した市民アンケートとは、質問内容が異なるため比較は難しいが、前回同様「農産物・観光資源の特産品づくり」「地域における雇用の確保の数値」の割合が高くなっています。

トの結果と比較すると、

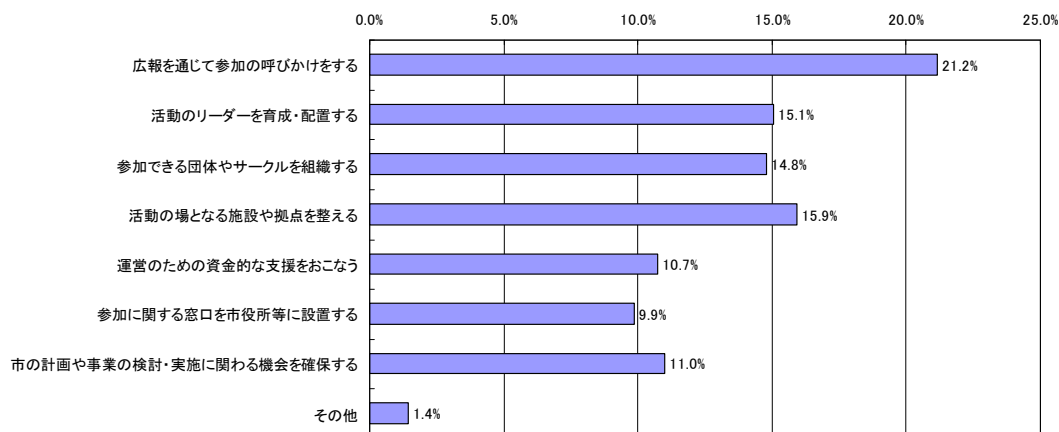
- 前回同様「地域の美化や清掃活動」、「緑化推進活動」、「地域のお祭りやスポーツ大会などのイベント活動」の割合が高くなっており、ほぼ同様の傾向となっています。

	今回調査結果	前回調査結果
地域の伝統文化や技術を子どもたちに伝える活動	9.4%	11.2%
介護を必要とされている方などへの介護活動	8.1%	7.5%
地域の美化や清掃などの活動	16.5%	18.7%
身近な自然や公園などの維持管理活動	10.5%	11.1%
資源のリサイクルやごみの減量化に関わる活動	8.4%	8.7%
花や木を植え、育てる緑化推進活動	17.8%	17.7%
観光客などへの観光案内活動	6.3%	4.6%
地域のお祭りやスポーツ大会などのイベント活動	15.5%	12.8%
参加したい活動はない	6.0%	5.8%
その他	1.3%	2.0%

問17. 市民参加

市政やまちづくりにおいて市民の参加を進めていくために、どんな対策が重要であるとお考えですか。(2つに〇)

1. 広報を通じて参加の呼びかけをする
2. 活動のリーダーを育成・配置する
3. 参加できる団体やサークルを組織する
4. 活動の場となる施設や拠点を整える
5. 運営のための資金的な支援をおこなう
6. 参加に関する窓口を市役所等に設置する
7. 市の計画や事業の検討・実施に関わる機会を確保する
8. その他(具体的に：)



《その他として寄せられた意見》

- ・ 毎月広報に取り上げてほしい
- ・ 参加した場合の充実感にみたされるように
- ・ 地域主義の壁をやぶり移住民の参加を快く受け入れること。よそ者別視をなくし仲間意識を持つ。
- ・ 申し訳ないが参加しない

- 「広報を通じて参加の呼びかけをする」(21.2%) が最も高い割合となっており、次いで「活動の場となる施設や拠点を整える」(15.9%) の順となっています。

《前回調査との比較》

伊豆市第1次総合計画前期基本計画策定時(平成16年10月)に実施した市民アンケートの結果と比較すると、

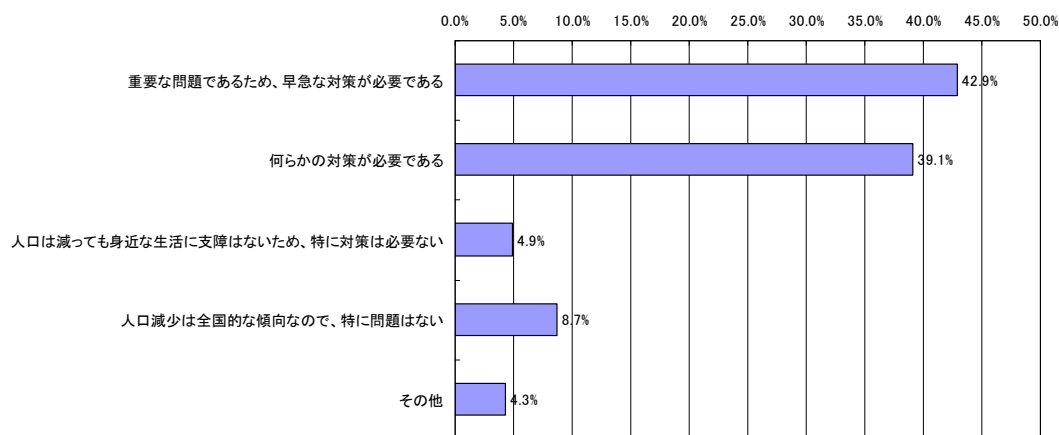
- 前回同様「広報を通じて参加の呼びかけをする」、「活動の場となる施設や拠点を整える」の割合が高くなっており、ほぼ同様の傾向となっています。

	今回調査結果	前回調査結果
広報を通じて参加の呼びかけをする	21.2%	21.6%
活動のリーダーを育成・配置する	15.1%	13.2%
参加できる団体やサークルを組織する	14.8%	13.4%
活動の場となる施設や拠点を整える	15.9%	15.5%
運営のための資金的な支援をおこなう	10.7%	12.0%
参加に関する窓口を市役所等に設置する	9.9%	11.6%
市の計画や事業の検討・実施に関わる機会を確保する	11.0%	11.1%
その他	1.4%	1.6%
計	100.0%	100.0%

問18. 人口減少

現在の伊豆市の人口（平成21年12月1日：35,807人）は、合併時（平成16年4月1日：37,869人）と比べて2,062人少なく、減少傾向にあります。また、最近の年間出生数は200人を切っており、10年前の半数程度になっています。このような人口の状況についてどのように考えますか。（1つに○）

1. 重要な問題であるため、早急な対策が必要である。
2. 何らかの対策が必要である。
3. 人口は減っても身近な生活に支障はないため、特に対策は必要ない。
4. 人口減少は全国的な傾向なので、特に問題はない。
5. その他（具体的に： _____ ）



《その他として寄せられた意見》

- ・人口は減少傾向なので子育て支援へもっと対策が必要
- ・働く場所がないため皆外に行ってしまうこと
- ・人口減を前向きにとらえた将来作り（人口減は止まらない）
- ・子育てしやすい環境づくり
- ・伊豆市を広げる（伊豆の国市との合併など）
- ・魅力を感じる市ではないからしょうがないと思う。
- ・田舎暮らしの都会の退職者への呼びかけ
- ・特産品の開発
- ・宣伝活動
- ・夜も歩ける遊歩道の整備
- ・温泉を活かしたレジャー施設の整備
- ・商店や中小企業への援助
- ・結婚しない若者が多い
- ・出生数は減少傾向だが、都市では若者が集中し出生数が増えている。伊豆市では地区に子供がおらず、生まれる可能性も高齢化によりゼロ。やむを得ず伊豆市を離れていく若者が多い。道路整備しても若者の都市への流出は続き、お先真っ暗である。

- 「重要な問題であるため、早急な対策が必要である。」（42.9%）が最も高い割合となっており、次いで「何らかの対策が必要である。」（39.1%）の順となっています。
- 全体の82%の方が対策が必要であると回答していますが、1割弱の方が「人口減少は全国的な傾向なので、特に問題はない」と回答しています。